

1、 出発前の準備

まず、計画書の作成と面接対策として、政治経済学部の留学準備講座を受講した。ここで、計画書の添削と、面接の練習をしてもらい、かつ留学を目指す同志に出会い、モチベーションを維持したまま選考に臨むことができた。また、候補者内定後は、語学力アップのためにフィリピンへ1カ月留学もした。

イギリスの Tier4 ビザは申請方法も煩雑だが、きちんと調べれば個人でも十分準備できると思う。代行業者などもあるが、私は個人で申請をした。

2. 協定校での諸手続き

寮の申請手続きをしたくらいで、他に大きな手続きは特に無かったと記憶している。

3. 宿舎と日常生活

大体の生徒が団地のようなフラットに5人1組で住むが、私は student house という所に住んでいたため、11人で一軒家をシェアしていた。Student house を選んだ理由は一番家賃が安かったから。人数が多いので、フラットメイトがどれほど家のことに協力的かどうかでだいぶ住み心地が変わってくる。また、家賃が安い分、student house のみ Wi-Fi が通っていないので注意。入居後、自分たちでルーターを契約する必要がある。Student house は新築の家もあれば築40年以上の家もあるが、それ以外はどこでも設備や奇麗さはあまり変わらない。キャンパスに近い方がやはり何かと便利。雨が多いので遠い寮だと通学が大変。

生活用品はキャンパスから徒歩15分ほどの、City Centre でなんでも揃う。逆に City Centre 以外、遊ぶ所はあまり無いかも・・・？学校帰りは大学のパブに行ってお酒を飲みながらビリヤードをしたりして遊ぶことが多い。とにかく遊ぶ場所はパブが多かった。また、春になると公園で BBQ をしたり、スケボーで遊んだ。とにかく楽しい！

4. 協定校のカリキュラム・履修した授業、課外活動、留学の成果

基本的に授業は正規学生同様、なんでもとれる。しかし、ビジネススクール以外の授業をとりたい場合は、部署が変わってしまうので自分で交渉にいたりとかかなり大変な様子だった。ビジネスの授業は基本的に通年のものが多いが、先生によっては半期で単位を出してくれるものもあるので交渉次第。かなり柔軟に対応してくれると思う。

留学を通して、英語で外国人と話す度胸、ヨーロッパの最新のビジネス知識等、本当に色々なことが学べる。日本で一生懸命勉強したトピックを、「この考えはもう古いから、」と授業で一蹴されたこともあった。

5. 帰国準備と帰国後の手続き

銀行口座を閉めることと、スーツケースに荷物が入り切らなかったためヤマトの国際宅急便を手配したくらい。

6. 商学部学生へのメッセージ (400~600字程度)

留学をすると就活が間に合わず、疎かになってしまうと考え諦める方も多と思います。私の周りでもたくさんいました。けれど私はロンドンで就活をし、留学経験が決め手となって、日本の春採用で選考を受けていたら手の届かなかったような企業に内定をいただきました。それは、なんの不自由もない世界から飛び出し、日本ではあり得ないようなハプニングや出会いを

経験し、自分の成長を実感できるまでになったおかげだと思います。留学は就活にとってプラスに働くことはあってもマイナスになることはほぼ無いと思いますし、留学中でも自己分析やES準備はできます。英語が上達したことで、企業を選ぶ際に選択肢も広がりました。

就活の悩みに限らず、たった4年間しかない学生生活ですし、留学へ少しでも興味があるならば早いうちにチャレンジするべきではないでしょうか。明治大学を出て異国の地で過ごす1年間は、きっと4年間のなかで最も忘れられない1年になると思います。こういった経験をぜひたくさんの明大生にしてほしいです。次はあなたの番！応援しています。